


第 60 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書 2015 年 4 月



■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所が2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI 値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI 値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の4団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有効パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2015年3月18日～2015年3月31日

◇調査方法：

調査票をFAXにて送付・回収

◇回答状況：

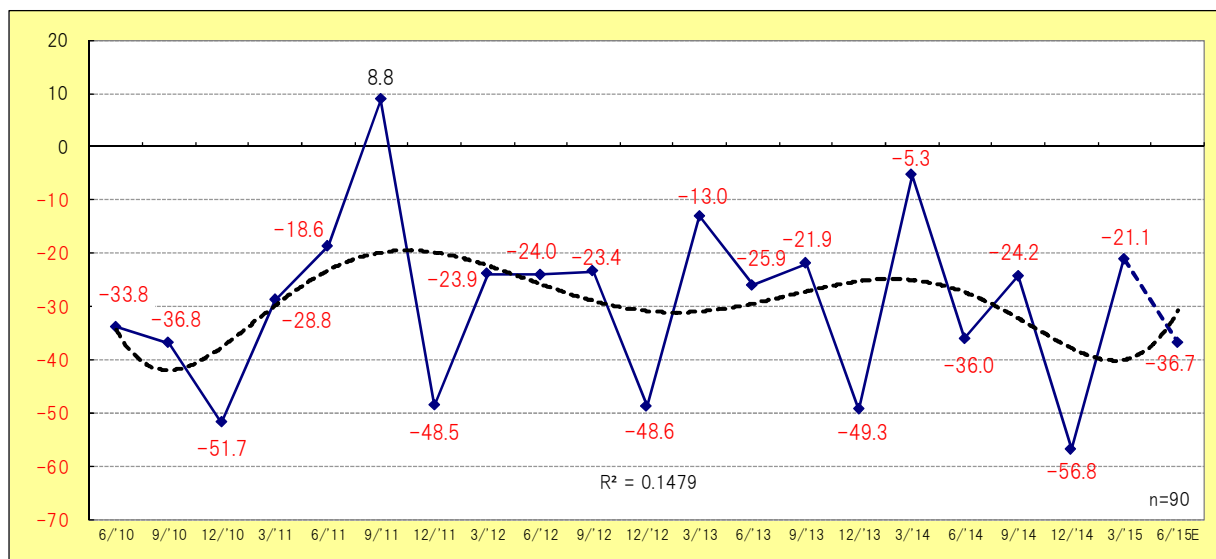
63企業、90地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査結果ダイジェスト(1)「全般的業況」

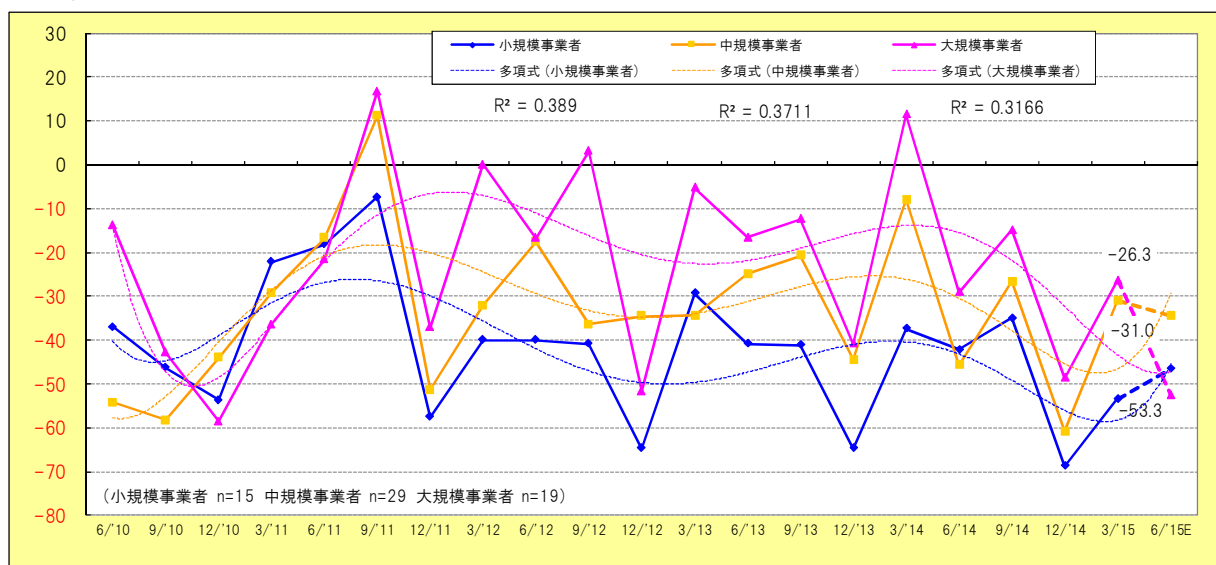
■全般的業況(収益を中心に売上、粗利など全般的な業況)

【事業者全体】



過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲56.8ポイントから▲21.1ポイント(前回比35.7良化)まで良化したものの、14期連続でマイナスとなった。1月～3月期は業況が良化する傾向にあることも留意しておきたい。一方、3カ月後は▲36.7ポイントまで悪化することが予想されている。

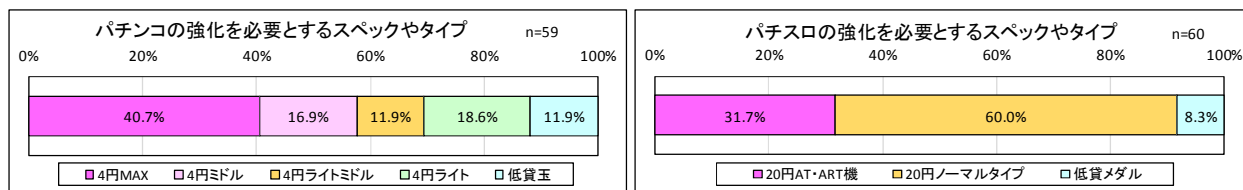
【事業者規模別】



「全般的業況」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1～3 店舗)が▲53.3 ポイント(前回比 15.5 良化)、中規模事業者(4～10 店舗)が▲31.0 ポイント(前回比 29.9 良化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲26.3 ポイント(前回比 22.3 良化)となり、全事業者で改善が見られた。3カ月後の見通しについて、小規模事業者は改善を予想しているが、中規模、大規模事業者は悪化を予想している。

調査結果ダイジェスト(2)「パチンコ内規改定について」

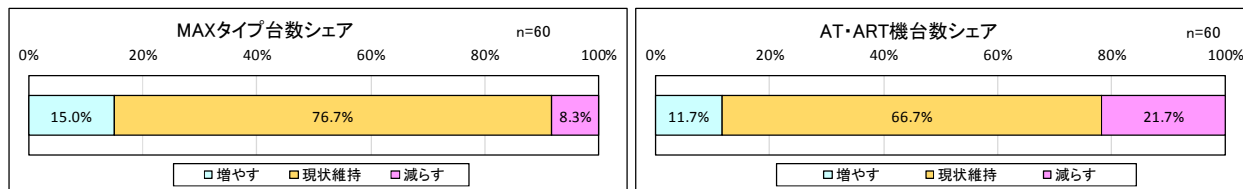
■強化するスペックやタイプ:「4円MAX」が4割、「20円ノーマル」が6割



日工組では内規を改定し、今年の11月1日以降の新台幣納品分からパチンコの大当たり確率の下限値を1/400から1/320に引き上げる方針を決定した。上図は、今回の内規改定を受けて強化を必要とするスペックやタイプについて質問した結果を示している。

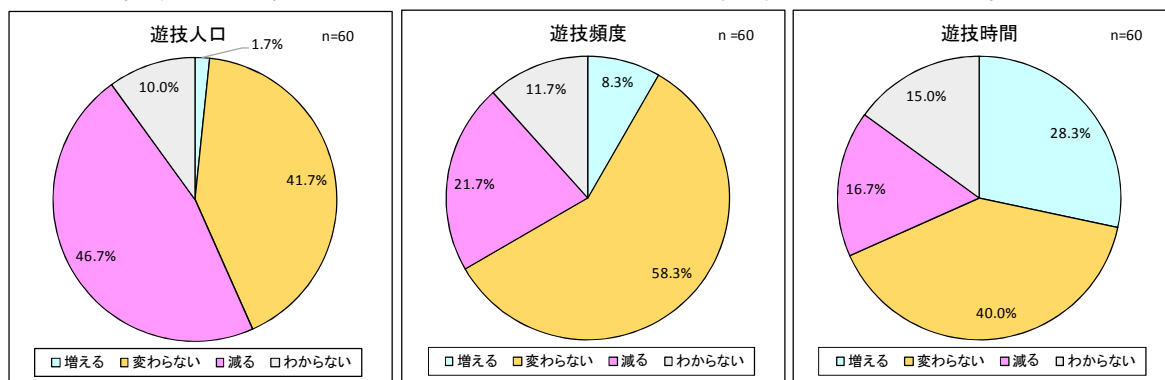
パチンコでは「4円MAX」と回答した割合が40.7%と最も高く、パチスロでは「20円ノーマルタイプ」が60.0%と最も高い結果となった。

■4円MAX、20円AT・ART機の台数シェア:「現状維持」が大半を占める



上図は、内規改定までの期間、MAXタイプや高純増AT・ART機の発売増加が予測されるなかで、4円MAXタイプ、20円高純増AT・ART機の台数シェアの増減について質問した結果を示している。パチンコ、パチスロ共に現状維持が最も高く、それぞれ76.7%、66.7%となった。パチンコは、「増やす」(15.0%)が「減らす」(8.3%)よりも、6.7ポイント高くなっている。一方、パチスロは「減らす」(21.7%)が「増やす」(11.7%)よりも10.0ポイント高くなった。

■内規変更後の変化:遊技人口「減る」、遊技頻度、遊技時間「変わらない」が最多



上図は11月1日以降に導入される確率下限値1/320のパチンコ機だけになった場合、パチンコの稼働にどのような影響があるかについて質問した結果を示したものである。

「遊技人口」は「減る」が最も高く46.7%となり、ついで「変わらない」が41.7%となった。「遊技頻度」は「変わらない」が最も高く58.3%となり、ついで「減る」が21.7%となった。「遊技時間」は「変わらない」が最も高く40.0%となり、ついで「増える」が28.3%となった。

主要指標数値(DI 値)結果

■パチンコ、パチスロは共に回復も、資本投資機運(遊技機)は悪化

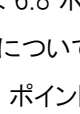
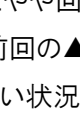
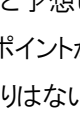
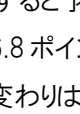
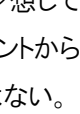
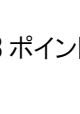
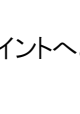
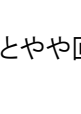
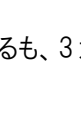
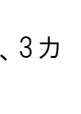

「全般的業況」は、前回から 35.7 良化して▲21.1 ポイントまで回復した。ただし、3 カ月後の見通しでは▲36.7 ポイントまで悪化すると予想している。

「稼働状況」は、パチンコが前回比 38.7 良化の▲16.7 ポイント、パチスロは前回比 23.0 良化の▲18.9 ポイントとなった。3 カ月後における稼働状況の見通しは、パチンコ▲24.4 ポイント、パチスロ▲36.7 ポイントと明るい見通しは立っていない。






「資本投資気運(遊技機)」は▲12.2 ポイント(前回比 18.2 悪化)まで悪化するも、3 カ月後は▲2.7 ポイントまで回復する見通しとなっている。「資本投資気運(その他設備)」は±0 ポイント(前回比±0)となり、3 カ月後の見通しは 6.8 ポイントとやや回復すると予想している。

「不足感(雇用人員)」については、前回の▲56.8 ポイントから▲53.3 ポイントへとやや回復するも、3 カ月後の見通しでも▲53.3 ポイントと厳しい状況に変わりはない。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

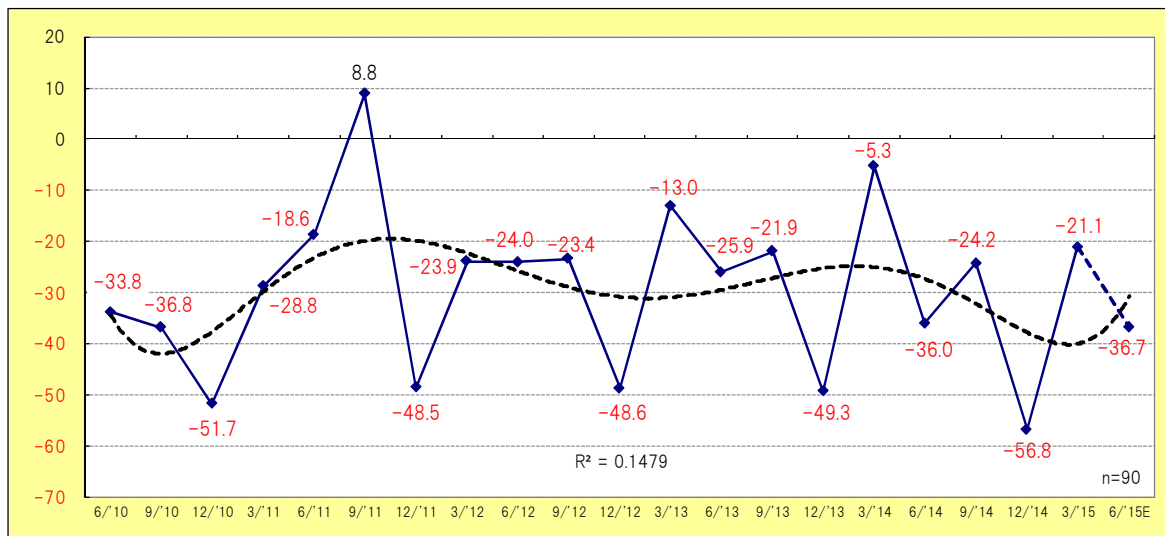
項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 →  →  -56.8 → -21.1 → -36.7	現状は雨に良化 見通しは雷雨へ悪化		
2. 稼働状況 (パチンコ)	 →  →  -55.4 → -16.7 → -24.4	現状は雨に良化 見通しも引き続き雨		
3. 稼働状況 (パチスロ)	 →  →  -41.9 → -18.9 → -36.7	現状は雨に良化 見通しは雷雨へ悪化		
4. 資本投資気運 (遊技機)	 →  → 6.0 → -12.2 → -2.7	現状は雨に悪化 見通しは曇りに良化		
5. 資本投資気運 (その他設備)	→ → 0.0 → 0.0 → 6.8	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り		
6. 不足感 (営業用設備)	→ → 6.8 → 2.2 → 0.0	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り		
7. 不足感 (雇用人員)	→ → -56.8 → -53.3 → -53.3	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨		

凡例: 大気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体) 注:2015年6月期(6/'15E)の数値は見通し

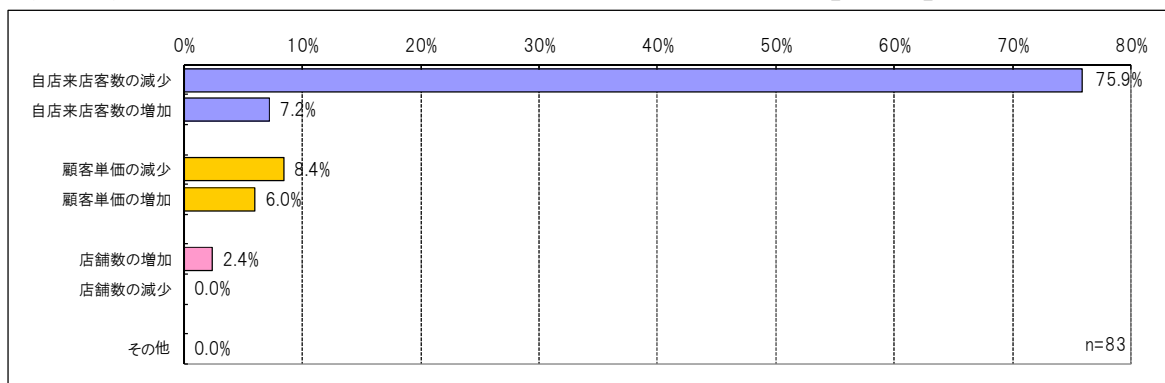
■全般的業況:業況は回復するも、3ヵ月後は悪化の見通し



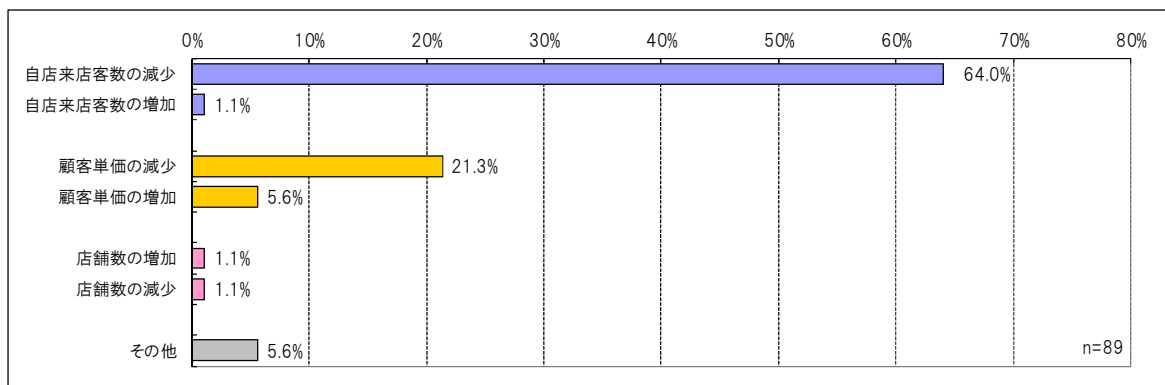
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲56.8ポイントから▲21.1ポイント(前回比35.7良化)まで良化したものの、14期連続でマイナスとなった。1月～3月期は業況が良化する傾向にあることも留意しておきたい。一方、3ヵ月後は▲36.7ポイントまで悪化することが予想されている。

■全般的業況の判断理由:業況低迷の主要因は「自店来店客数の減少」

【現況(現在を含めたここ1ヵ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)

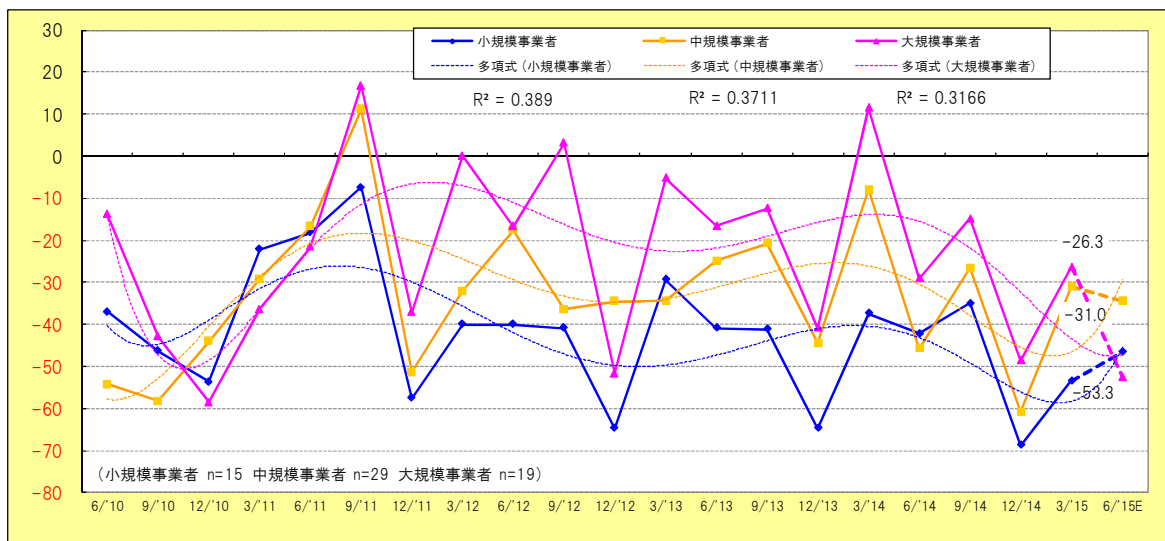


【先ゆき(3ヵ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



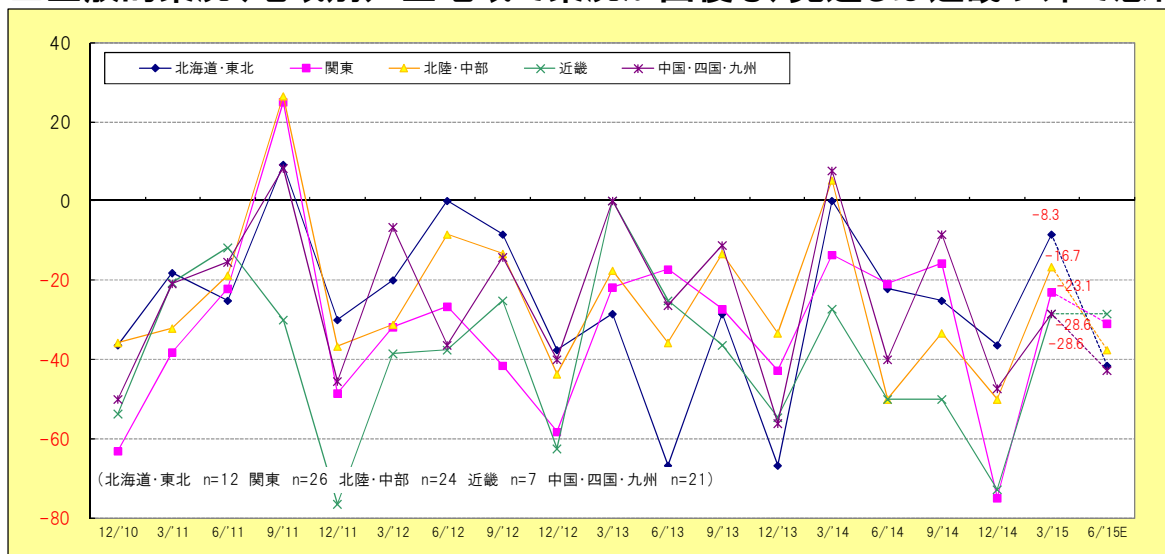
全般的業況(規模別・地域別) 注: 2015年6月期(6/'15E)の数値は見通し

■全般的業況(規模別): 事業者規模にかかわらず業況は良化



「全般的業況」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)が▲53.3 ポイント(前回比 15.5 良化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲31.0 ポイント(前回比 29.9 良化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲26.3 ポイント(前回比 22.3 良化)となり、全事業者で改善が見られた。3 カ月後の見通しについて、小規模事業者は改善を予想しているが、中規模、大規模事業者は悪化を予想している。

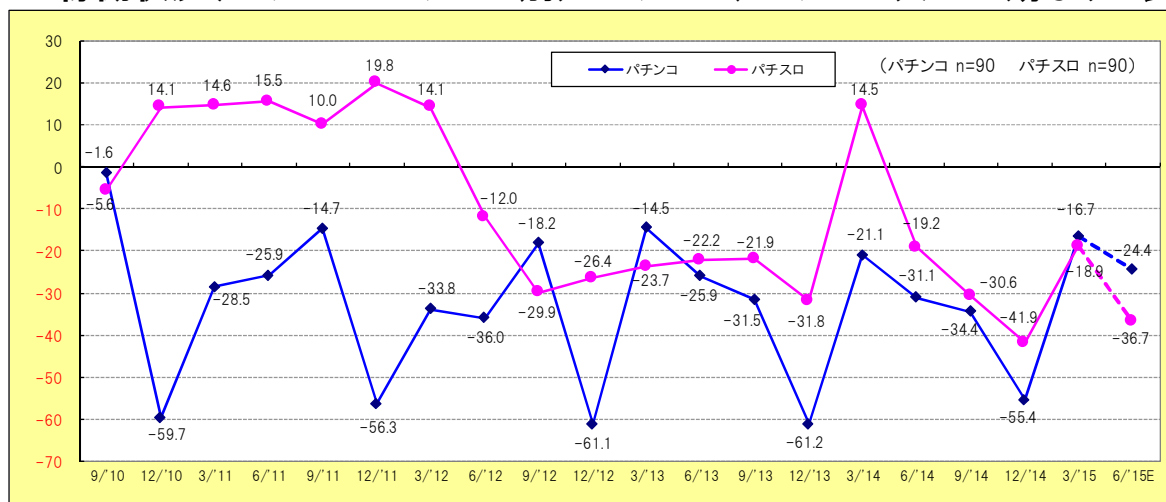
■全般的業況(地域別): 全地域で業況が回復も、見通しは近畿以外で悪化



「全般的業況」(規模別)と同様に、地域別の「全般的業況」でも全地域で回復が見られた。なかでも、最も業況が良い地域は北海道・東北で、▲8.3 ポイント(前回比 26.1 良化)となった。一方、業況が低かったのは近畿と中国・四国・九州でそれぞれ▲28.6 ポイント(近畿:前回比 44.2 良化、中国・四国・九州:前回比 18.8 良化)となった。3 カ月後の見通しについて、近畿は横ばいで推移すると予想しているが、それ以外の地域では、悪化が予想されている。

稼働状況(事業者全体) 注:2015年6月期(6/15E)の数値は見通し

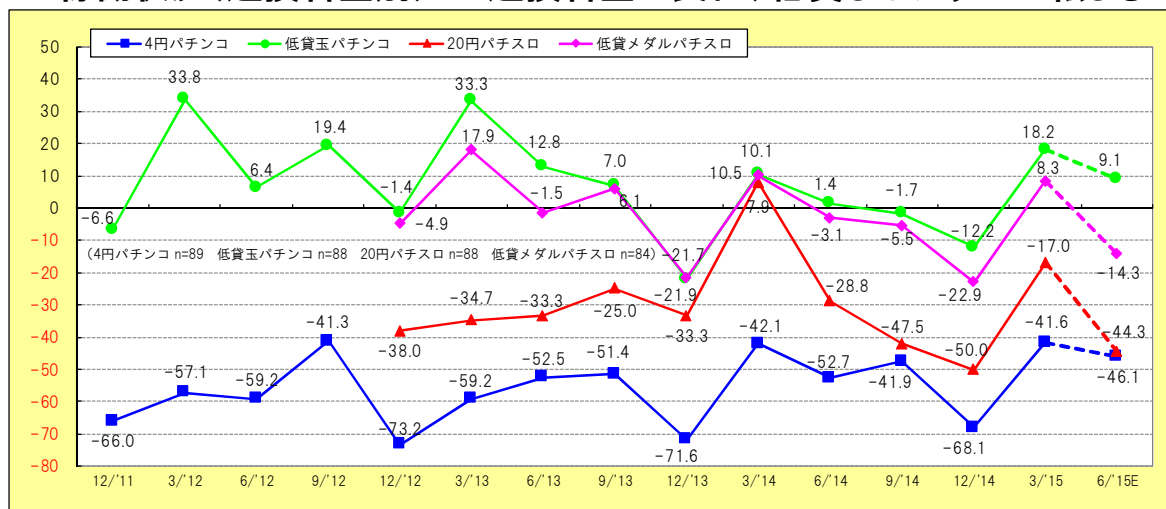
■ 稼働状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコ、パチスロ共に4期ぶりの良化



パチンコ稼働状況は▲16.7ポイント(前回比 38.7 良化)と4期ぶりに良化、3カ月後の見通しは▲24.4ポイントと悪化が予想されている。

パチスロ稼働状況は▲18.9ポイント(前回比 23.0 良化)となり、パチンコと同様に4期ぶりの良化であった。3カ月後の見通しは▲36.7ポイントと、悪化することが予想されている。

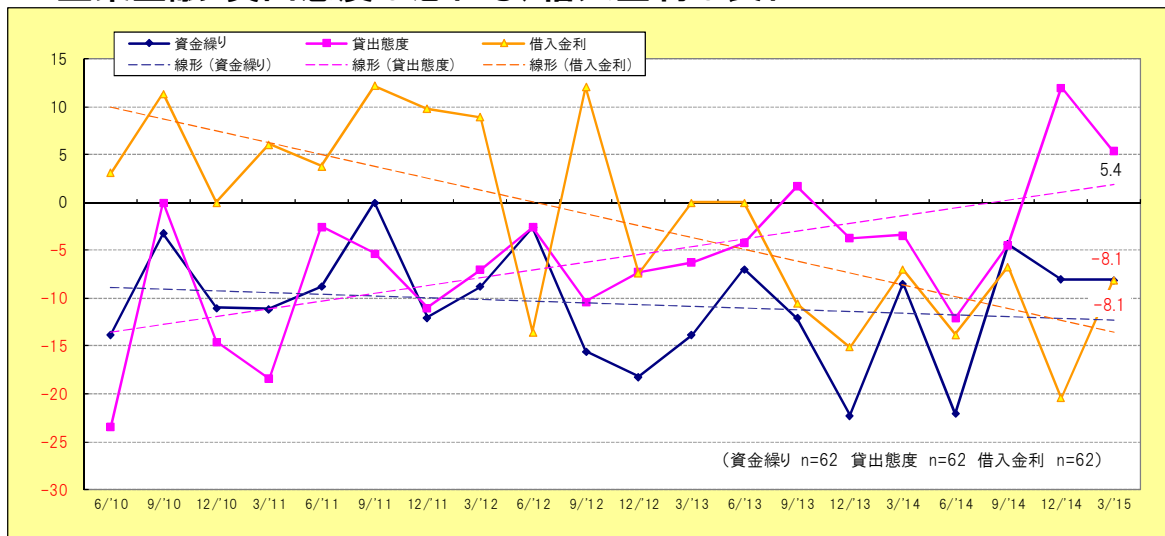
■ 稼働状況(遊技料金別):全遊技料金で良化、低貸しはプラスへ転じる



稼働状況を通常貸し遊技料金でみていくと、4円パチンコは▲41.6ポイント(前回比 26.5 良化)となり、3カ月後は▲46.1ポイントとやや悪化すると予想されている。20円パチスロの稼働状況は▲17.0ポイント(前回比 33.0 良化)となり、3カ月後は▲44.3ポイントと4円パチンコ同様に悪化することが予想されている。

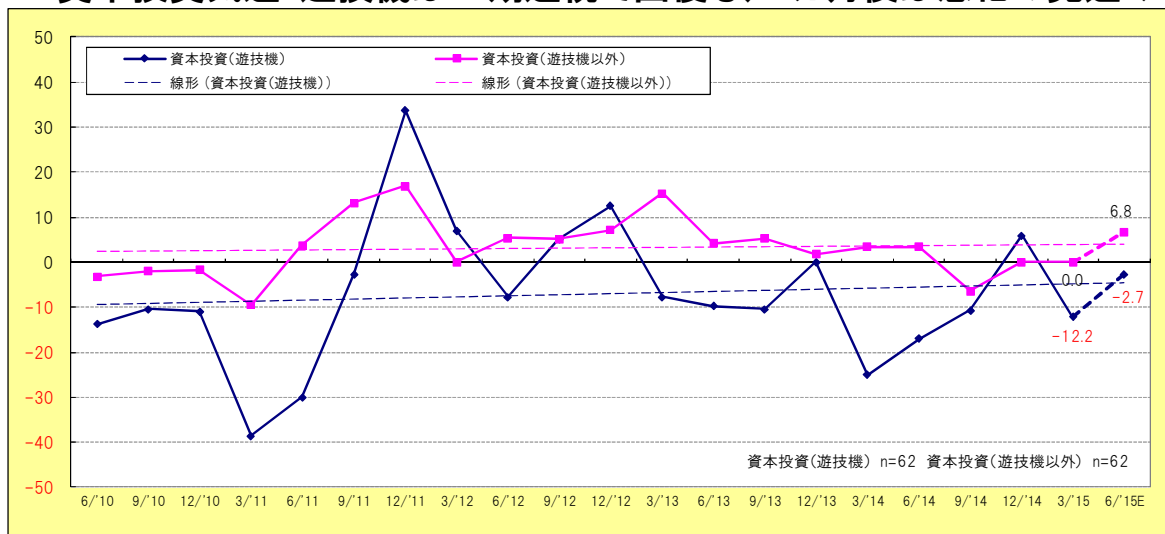
低貸し遊技料金においては、低貸玉パチンコが18.2ポイント(前回比 30.4 良化)、低貸メダルパチスロも8.3ポイント(前回比 31.2 良化)とどちらもプラスへ良化している3カ月後の見通しでは、低貸玉パチンコは9.1ポイント、低貸メダルパチスロは▲14.3ポイントとどちらも悪化すると予想しているが、低貸玉パチンコはプラスを維持できると予想されている。

■ 企業金融: 貸出態度は悪化も、借入金利は良化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲8.1ポイント(前回比0.1悪化)、「貸出態度」が5.4ポイント(前回比6.6悪化)、「借入金利」▲8.1ポイント(前回比12.3良化)となり、「借入金利」のみ良化が見られた。

■ 資本投資気運: 遊技機は3期連続で回復も、3カ月後は悪化の見込み

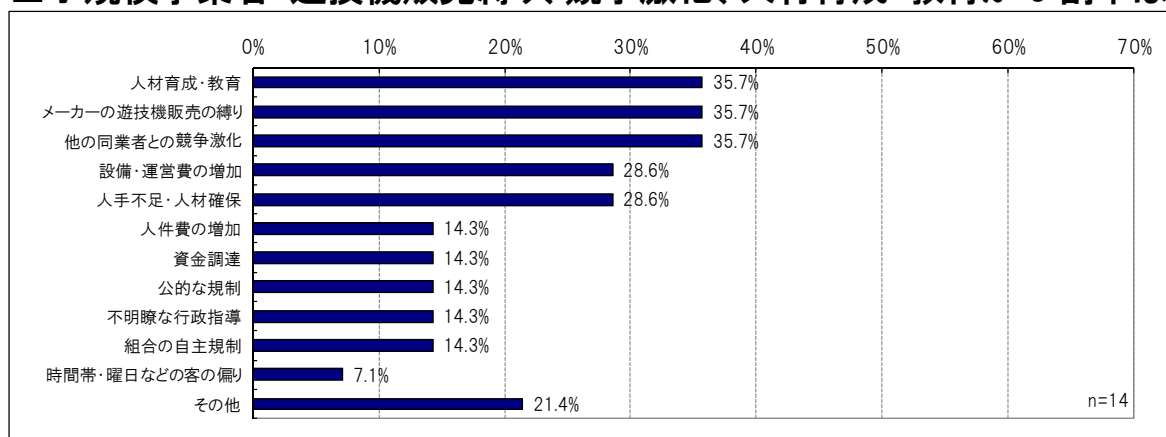


今回の「資本投資気運(遊技機)」は、前回の6.0ポイントから12.2ポイントまで悪化し、マイナスに転じた。3カ月後の見通しは▲2.7ポイントまで良化を予想している。

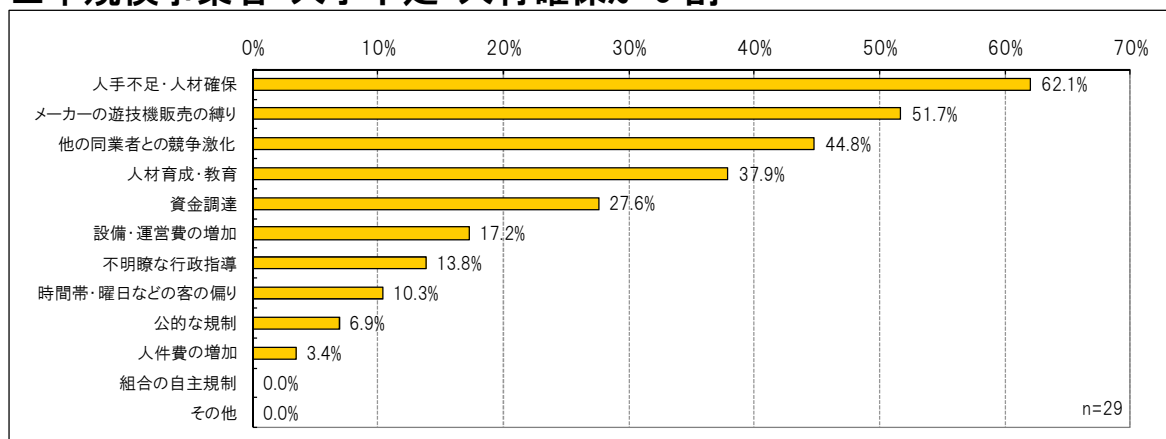
一方、「資本投資気運(遊技機以外の設備)」は、±0ポイント(前回比±0)となった。3カ月後の見通しは6.8ポイントとなり、やや回復するものと予想される。

経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

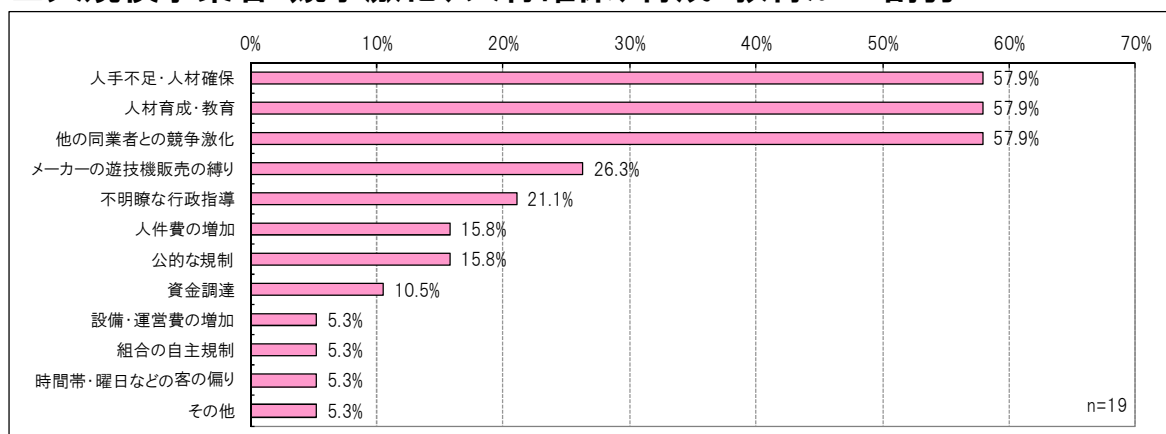
■小規模事業者:遊技機販売縛り、競争激化、人材育成・教育が3割半ば



■中規模事業者:人手不足・人材確保が6割



■大規模事業者:競争激化、人材確保、育成・教育が6割弱



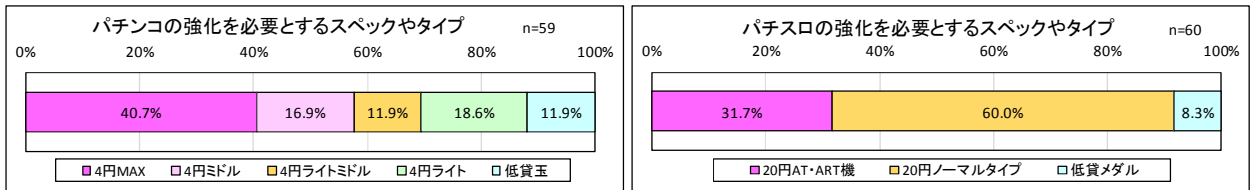
「経営上の課題」を事業者の規模別では、小規模事業者(1~3 店舗)においては「メーカーの遊技機販売の縛り」、「他の同業者との競争激化」、「人材育成・教育」が同率で35.7%と最大の課題となった。

中規模事業者(4~10 店舗)は、「人手不足・人材確保」を一番の課題として挙げており、62.1%となった。また、2番目の課題として「メーカーの遊技機販売の縛り」が51.7%を占めている。

大規模事業者(11 店舗以上)は、「他の同業者との競争激化」「人材育成・教育」「人手不足・人材確保」が同率で57.1%と最大の課題として挙げている。

トレンド・ウォッチ「パチンコ内規改定について」

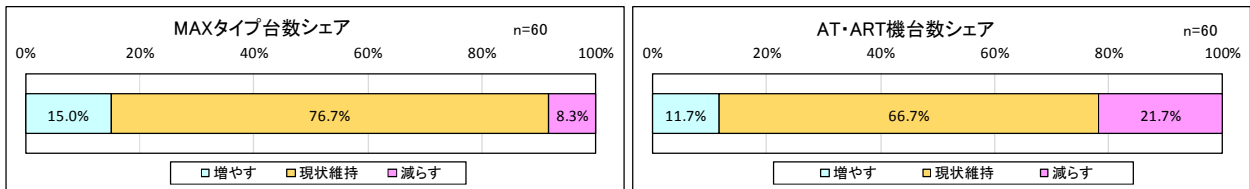
■強化するスペックやタイプ:「4円MAX」が4割、「20円ノーマル」が6割



日工組では内規を改定し、今年の11月1日以降の新台納品分からパチンコの大当たり確率の下限値を1/400から1/320に引き上げる方針を決定した。上図は、今回の内規改定を受けて強化を必要とするスペックやタイプについて質問した結果を示している。

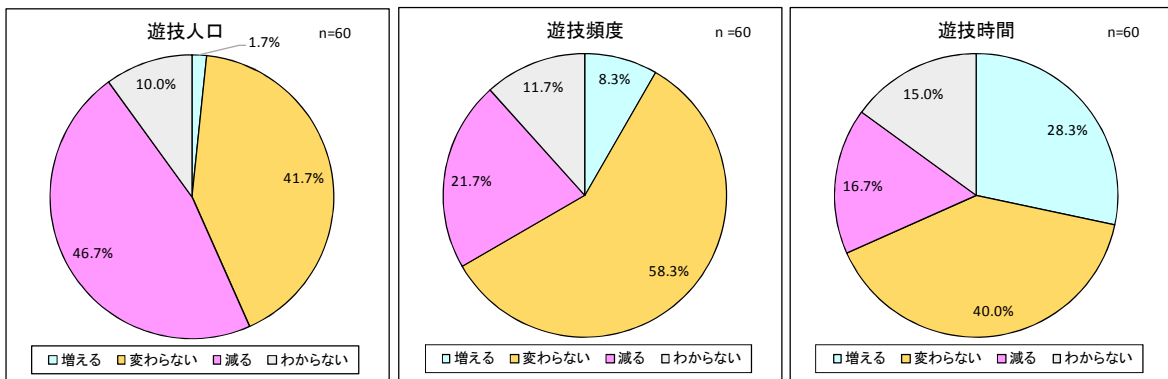
パチンコでは「4円MAX」と回答した割合が40.7%と最も高く、パチスロでは「20円ノーマルタイプ」が60.0%と最も高い結果となった。

■4円MAX、20円AT・ART機の台数シェア:「現状維持」が大半を占める



上図は、内規改定までの期間、MAXタイプや高純増AT・ART機の発売増加が予測されるなかで、4円MAXタイプ、20円高純増AT・ART機の台数シェアの増減について質問した結果を示している。パチンコ、パチスロ共に「現状維持」が最も高く、それぞれ76.7%、66.7%となった。パチンコは、「増やす」(15.0%)が「減らす」(8.3%)よりも、6.7ポイント高くなっている。一方、パチスロは「減らす」(21.7%)が「増やす」(11.7%)よりも10.0ポイント高くなった。

■内規変更後の変化:遊技人口「減る」、遊技頻度、遊技時間「変わらない」が最多



上図は11月1日以降に導入される確率下限値1/320のパチンコ機だけになった場合、パチンコの稼働にどのような影響があるかについて質問した結果を示したものである。

「遊技人口」は「減る」が最も高く46.7%となり、ついで「変わらない」が41.7%となった。「遊技頻度」は「変わらない」が最も高く58.3%となり、ついで「減る」が21.7%となった。「遊技時間」は「変わらない」が最も高く40.0%となり、ついで「増える」が28.3%となった。

コメント(自由回答)抜粋

■ パチンコ内規改定、および現状・先行きに対するご意見

パチンコ内規改定に関するコメント

- ◆以前の内規改定で、パチンコの大当たり確率の下限が1/500から1/400となった時と同様に、1/400から1/320になってもお客様の一時的な反発はあるが、長期的には受け入れられると考えます。(中国・大規模事業者)
- ◆ヘビープレイヤーへの依存度が高まっているなかで、特にパチンコ部門は初当たりが15,000円前後を上限に設定しないと、ますますヘビープレイヤーへの依存が高まってしまふ。今回の規制は歓迎する。(中部・大規模事業者)
- ◆今回の改定はあまりにも高射幸性になり過ぎたのを、元に戻すものだと理解している。MAXタイプは娯楽として投資金額があまりにも高い。内規改定は業界のためにも必要と思う。(東北・小規模事業者)
- ◆今回の内規改定はあくまでも序章であって、この他にも様々な改定が出てくるのではないのでしょうか。今回の件をマイナスと捉えずにお客様の負担を減らすための良いキッカケと捉え、広告規制の遵守など、業界の健全化に努めることが必要だと考えます。(近畿・小規模事業者)
- ◆これを機にファンが戻ってくるような遊技機を期待します。(関東・小規模事業者)
- ◆今のパチンコは玉持ちの悪さが問題で、賞球6個、確率は1/200程度にすれば良いと考える。メーカーもホールも現在の半分程度になれば、業界が残るだろう。じわじわ減っていくよりは一気に整理されるほうが良いと思う。今回の内規改定も甘過ぎで、メーカーもパチンコ店も身を削らなければ業界の未来はない。(近畿・小規模事業者)
- ◆パチンコ内規改定後、当面はMAXタイプの希少性により、中古市場も高騰するかもしれない。しかし、検定期限を迎えたら現行のミドルタイプが今のMAXタイプの地位に来るとともに、稼働の中心はミドルタイプになる気がします。(中国・中規模事業者)
- ◆遊技機が多様なのは良いことだが、今まで業界が進めてきたことには問題がある。今までも何年かに1度この様な変更はあったが、TY、最大MYの減少はやはりダメージを受けると思う。以前とは参加人数が違いすぎるため、しばらく冷え込むだろう。(関東・中規模事業者)

現状・先行きに関するコメント

- ◆業界全体の縮小は数字に表れている通りで、今後は延命を図る上場企業による吸収合併、M&Aなどが加速し、20店舗以下の企業は生き残れないだろう。(関東・中規模事業者)
- ◆メーカーは、機械代をはじめ、これまでの設備の高騰に歯止めを掛け、遊べるパチンコにすべきである。ホールは高交換率営業を止めて、メーカーは遊技機の価格を下げるべきである。(関東・小規模事業者)
- ◆中小規模のパチンコ店であっても遊技料金に関係なくライトタイプのニーズを掴んでいる店はしぶとく営業をしているが、全体としては郊外部を中心に苦しい状況にあると思う。特に地方都市の苦戦は顕著に出ている。(東北・大規模事業者)
- ◆近隣市場へ出店攻勢が増しており、その影響が気になるところです。(関東・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-68.8	-53.3	-46.7	-60.9	-32.1	-35.7	-48.6	-26.3	-52.6	-56.8	-21.1	-36.7
稼働状況(パチンコ)	-56.3	-53.3	-40.0	-65.2	-28.6	-21.4	-48.6	-26.3	-36.8	-55.4	-16.7	-24.4
稼働状況(パチスロ)	-56.3	-40.0	-33.3	-39.1	-21.4	-28.6	-37.1	-42.1	-52.6	-41.9	-18.9	-36.7
資本投資気運(遊技機)	12.5	-21.4	-7.1	-9.5	-18.5	0.0	23.1	-5.6	0.0	6.0	-12.2	-2.7
資本投資気運(その他設備)	-6.3	-7.1	7.1	-19.0	7.4	18.5	38.5	-5.6	0.0	0.0	0.0	6.8
不足感(営業用設備)	18.8	13.3	13.3	0.0	3.6	0.0	5.7	5.3	0.0	6.8	2.2	0.0
不足感(雇用人員)	-25.0	-20.0	-33.3	-69.6	-71.4	-64.3	-62.9	-63.2	-68.4	-56.8	-53.3	-53.3

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-36.4	-8.3	-41.7	-75.0	-23.1	-30.8	-50.0	-16.7	-37.5
稼働状況(パチンコ)	-27.3	0.0	-16.7	-62.5	-26.9	-26.9	-56.3	-12.5	-37.5
稼働状況(パチスロ)	-36.4	-16.7	-50.0	-56.3	-15.4	-23.1	-43.8	-33.3	-50.0
不足感(営業用設備)	18.2	8.3	0.0	6.3	-3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
不足感(雇用人員)	-45.5	-41.7	-41.7	-62.5	-61.5	-61.5	-56.3	-58.3	-58.3
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-72.7	-28.6	-28.6	-47.4	-28.6	-42.9	-56.8	-21.1	-36.7
稼働状況(パチンコ)	-72.7	-28.6	-14.3	-52.6	-14.3	-14.3	-55.4	-16.7	-24.4
稼働状況(パチスロ)	-45.5	-14.3	-28.6	-31.6	-9.5	-33.3	-41.9	-18.9	-36.7
不足感(営業用設備)	9.1	14.3	0.0	5.3	4.8	0.0	6.8	2.2	0.0
不足感(雇用人員)	-45.5	-14.3	-28.6	-68.4	-57.1	-52.4	-56.8	-53.3	-53.3

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-10.5	-31.3	-14.3	-13.3	-9.5	-7.4	8.3	23.1	11.1	-4.3	-8.0	-8.1
貸出態度	-16.7	6.3	-7.1	-6.7	4.8	0.0	8.3	30.8	16.7	-4.4	12.0	5.4
借入金利	-11.1	-13.3	-21.4	6.7	-19.0	-7.4	-16.7	-30.8	-11.1	-6.7	-20.4	-8.1

* 全般的業況 n=90、稼働状況(パチンコ)n=90、稼働状況(パチスロ)n=90、資本投資気運(遊技機)n=62、資本投資気運(その他設備)n=62、不足感(営業用設備)n=74、不足感(雇用人員)n=74、資金繰りn=61、貸出態度n=61、借入金利n=61

* 小規模事業者=3店舗以下、中規模事業者=4~10店舗、大規模事業者=11店舗以上

第 60 回調査質問票

F1. 貴社が保有されている全営業店舗数を回答してください。(__店舗)

F2. 貴社が営業されている店舗は以下のどの地域に属しますか？ 該当する地域すべてについて、問 1 から問 5 までそれぞれ回答してください。

A. 北海道 B. 東北(青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県) C. 関東(茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県) D. 北陸(新潟県 富山県 石川県 福井県) E. 中部(山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県) F. 近畿(滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県) G. 中国(鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県) H. 4 国(徳島県 香川県 愛媛県 高知県) I. 九州(福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県)

I. 以下の設問には、保有される店舗が属する F2. で示した地域ごとに回答してください。

問 1. 【業況】貴社における、収益を中心に売上や粗利といった全般的な業況について。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 1-1. 問 1 で業況判断をした理由について、下記項目から何が最も影響しているのか、『現況』と『先行き』それぞれあてはまる項目を記号で回答してください。(回答用紙に記号を1つだけ記入してください)

①現況(現在を含めたここ 1 カ月)の業況判断の理由

②先行き(3 カ月後まで)の業況判断の理由

a. 店舗数の増加(増台含む) b. 来店客数の増加 c. 顧客単価の増加 d. 店舗数の減少(減台含む) e. 来店客数の減少 f. 顧客単価の減少 g. その他

問 2. 【営業用設備】貴社の日常的営業活動において、遊技機を中心とした営業用設備(券売機、計数機などを含む。但し定期的な点検・修繕などによる一時的不足は除く)について。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

問 3. 【雇用】貴社の雇用人員について。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

問 4. 【稼働状況/パチンコ】貴社における、パチンコ遊技機の全般的な稼働状況について。

※ここでは、4 円パチンコや低貸玉パチンコを含めたパチンコ全般を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 4-1. 【4 円パチンコ】※ここでは、4 円パチンコの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 4-2. 【低貸玉パチンコ】※ここでは、低貸玉パチンコの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

問 5. 【稼働状況/パチスロ】貴社における、パチスロ遊技機の全般的な稼働状況について。

※ここでは、20 円パチスロや低貸メダルを含めたパチスロ全般を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 5-1.【20 円パチスロ】※ここでは、20 円パチスロの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3 カ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

付問 5-2.【低貸メダルパチスロ】※ここでは、低貸メダルの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3 カ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

II. 以下の設問は、保有店舗全体について企業単位で回答してください。

問 6.【資金繰り】貴社における資金繰りについて。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では〔 a. 楽である b. さほど苦しくない c. 苦しい 〕

問 7.【貸出態度】貴社に対する金融機関の貸出態度について。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では〔 a. 緩い b. さほど厳しくない c. 厳しい 〕

問 8.【借入金利】貴社における金融機関の借入金利変化について。

①「(3 カ月前に比べた)現在の変化」では〔 a. 上昇 b. 変わらない c. 低下 〕

問 9.【資本投資/遊技機】貴社において、遊技機に対する資本投資の変化について。

①「(3 カ月前に比べた)現在の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

②「先行き(3 カ月後まで)の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

問 10.【資本投資/設備】貴社において、遊技機以外の設備に対する資本投資の変化について。

①「(3 カ月前に比べた)現在の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

②「先行き(3 カ月後まで)の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

問 11.【経営上の課題】貴社における経営上の課題として重要なもの上位 3 つを選んで回答欄に記号でお答えください。

- a. 人件費の増加 b. 設備・運営費の増加 c. 人手不足・人材確保 d. 人材育成・教育 e. 資金調達 f. メーカーの遊技機販売の縛り g. 公的な規制 h. 不明瞭な行政指導 i. 組合の自主規制 j. 他の同業者との競争激化 k. 時間帯・曜日などの客の偏り l. その他()

III. トレンド・ウォッチ ～「パチンコ内規改定について」～

日工組では内規を改定し、今年の 11 月 1 日以降の新台幣品分からパチンコの大当たり確率の下限値を 1/400 から 1/320 に引き上げる方針を決定しました。また、これまで適用されていた MAX タイプの新台幣販売は今年 10 月 31 日までの期限としました。今回はパチンコ内規改定後の影響や今後の営業について伺います。

※11 月 1 日以降の、パチンコ遊技機の性能は以下を想定します。

- 1)大当たり確率の下限値は 1/320 まで
2)初回の大当たり獲得遊技玉数の下限値は、最大出玉の 3 分の 1 以上かつ 600 個以上
3)対象は獲得遊技玉数の期待値が 6,400 個を超えるもので、獲得出玉期待値の上限は 9,600 個以下

問 12. 今回の内規改定を受けて、強化の必要性を強く考えているスペックやタイプはありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

①パチンコ:(a. 4 円 MAX タイプ b. 4 円ミドルタイプ c. 4 円ライトミドルタイプ d. 4 円ライトタイプ e. 低貸玉)

②パチスロ:(a. 20 円 AT・ART 機 b. 20 円ノーマルタイプ c. 低貸メダル)

問 13. 内規改定までの間、MAX タイプや高純増 AT・ART 機の発売増加が予測されます。4 円 MAX タイプ、20 円高純増 AT・ART 機の台数シェアをどのようにしたいとお考えですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

①現在の MAX タイプ:(a. 増やす b. 現状維持 c. 減らす)

②現在の AT・ART 機:(a. 増やす b. 現状維持 c. 減らす)

問 14. 11 月 1 日以降に導入される確率下限値 1/320 のパチンコ機だけになった場合、パチンコの稼働にどのような影響があると考えますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

①遊技人口:(a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない)

②遊技頻度:(a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない)

③遊技時間:(a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない)



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-5 石川興産ビル4F
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

Copyright© 2015 Entertainment Business Institute. All rights reserved.